

平成 28（2016）年度

文京学院大学人間学部
FD 委員会報告書（概要）

人間学部 FD 委員会作成

平成 28 年度 人間学部 FD 委員会 報告書

あいさつ	p. 1
I 今年度の活動目的	p. 2
II 活動経過と内容	p. 4
III 今年度の FD 活動を振り返って	p. 5
IV 議事録とアンケート結果	
1. 委員会議事録（第 1 回～第 8 回）	p. 6
2. 研修会（省略）	
V 委員氏名	p. 15

あいさつ（木村浩則 学部長）

今年度は、アクティブラーニングの視点に立った魅力ある授業づくりをテーマに、FD 活動に取り組んできました。そもそも FD とは、授業の内容、方法の改善のために実施される組織的な研修及び研究を意味します。人間学部で行ってきたのは後者の組織的な研究に当たります。授業の研究と実践、研修会の準備など、FD 委員の皆さんにとってはけっこうたいへんな作業だったかもしれません。この1年、本当にお疲れ様でした。

振り返ってみて、アクティブラーニングとは何か、その理解の共有から出発すべきだったかと若干反省しております。アクティブラーニングは、その有効性や課題の検討を含め、引き続き授業改善の大切なテーマです。本報告書がその参考になれば幸いです。

さて今後の課題ですが、いまや大学教育においても、ダイバーシティ(多様性)あるいはインクルージョン(包摂)の視点を取り入れることが求められています。次年度の研究テーマとして取り組むことができると考えております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。



I 今年度の活動目的

人間学部の FD 委員会は、今年度で発足 4 年目を迎える。今年度の活動目的を述べる前に、今までの経緯について説明することにする。

平成 25 (2013) 年 4 月 1 日から「文京学院大学 FD・SD 規程」が施行され、全学 FD 委員会の下部組織として、各学部に FD 委員会が設置された。人間学部の FD 委員会では、教員相互の授業参観を行うことで、教員の教育方法や授業技術の向上を図り、学部 FD 研修会にて報告することで、学部教員全体の教育技術の向上に寄与することを目的にした。

そこで、FD 委員会の設置 1 年目である平成 25 (2013) 年度は、前期は授業研究を試行しながらその方法を検討し、学部 FD 研修会に報告して学部教員全員で討議し、人間学部独自の授業研究方法を策定した。後期は各学科の FD 委員が授業研究を行い、FD 研修会に成果を公表して、人間学部の教員全員が討議した。

設置 2 年目の平成 26 (2014) 年度は、組織的な FD 活動の活性化を目指して委員を増員し、各学科から約 2 名の教員が代表として選出された。それは前年度の委員定数の約 2 倍にあたる人数である。前期と後期に分かれて、学科別に 1 名の教員が授業研究を行い、全教員の参観が可能となった。さらに、前期 FD 研修会にて「授業研究の報告の時間が短く、内容の把握がしにくい」という感想があったことから、後期の授業研究ではビデオ映像を導入して授業状況を具体的に理解できるようにした。したがって、FD 活動の特徴は、「委員の増員に伴う授業研究回数の増加」「学部全員の授業参観」「ビデオ視聴を伴うリアリティある授業研究報告」の 3 点にあった。ただし、研修会にて「授業報告は参考になるが、授業内容によって違いがあるのでグループ討議には結びつかなかった」という意見が目立った。

そこで、設置 3 年設置目の平成 27 (2015) 年度は授業研究の報告者が各自テーマを設定してグループ討議を行うように変更し、発表内容とグループ討議が関連するように工夫した。4 人の発表者がいれば、テーマは 4 つとなり、参加教員は関心のあるテーマのグループに分かれて参加することになる。アンケート結果では、「①授業研究の報告について参考になりましたか？」では『はい』が 96%、「②グループ討議は参考になりましたか？」では『はい』が 100%で、ほぼ全員が有効性を認めており、かなり良い結果となった。

設置 4 年目を迎える今年度は、学科を主体にした FD に変更して「学生募集につながる魅力ある授業づくり」をテーマに、各学科において授業改善を行う事となった。委員の任期も 1 年から 2 年となり、充実した活動が可能となった。このような変更は、これまでの 3 年間の授業研究を主体とした FD 活動を一新するものであったが、昨今の学生募集状況の厳しさ

を踏まえての対応ともなっている。「魅力ある授業づくり」は、アクティブラーニングの視点に立っており、各学科の委員は試行錯誤しながら精力的に授業づくりに取り組んでくださった。いずれこの活動を書籍として出版しても良いのではないかとの意見も出されている。

この報告書には、人間学部 FD 委員の 1 年間の真摯な取り組みを記載しており、ご一読頂ければ幸せである。なお、報告書はメールにて配信し、より多くの方と共有したいと考えている。ご意見ご感想を頂き、人間学部だけでなく大学全体の FD 活動の発展にも寄与できることを心より願っている。

(金子委員長)



II 活動経過と内容

実施日	FD 委員会（主な議題と内容）	研修会
<前期> 4/6（水）	第1回 ・FD 委員会活動の方向性の検討 学科独自の授業改善に取り組むことになる。	学部前期 FD 研修会
5/11（水）	第2回 ・FD 委員会報告書について ・各学科の FD テーマについて テーマ「魅力ある授業づくり」を基に学科独自 でテーマ設定を行う。	
6/1（水）	第3回 ・各学科の FD 活動の内容検討	
7/6（水）	第4回 ・前期 FD 研修会の実施方法について 研修会プログラムの確認、アンケートの調整、 当日準備の打ち合わせ ・各学科の FD 活動の進捗状況について	
7/27（水） <後期>		
10/5（水）	第5回 ・前期 FD 研修の反省 ・各学科の後期 FD 活動の内容について ・後期 FD 研修会の日程について ・報告書作成について	
11/2（水）	第6回 ・各学科の後期 FD 活動の内容について ・後期 FD 研修会の実施方法について ・FD 活動についての単行本の発行について	
12/7（木）	第7回 ・各学科の後期 FD 活動の内容について ・後期 FD 研修会の実施方法について 研修会プログラムの確認、アンケートの修正 当日準備の打ち合わせ ・FD 報告書の形式の詳細決定	
平成 29 年 1/25（水）		
2/1（水）	第8回 ・学部後期 FD 研修会の反省について ・経営学部 FD 研修会の参加について ・FD 委員会報告書の原稿締切り：2 月末 ・今年度の活動の反省と評価について ・次年度の FD 活動の方向性について ・出版予定の書籍の構成と分担について	
2/9（木）		全学 FD・SD 研修会

Ⅲ 今年度の FD 活動を振り返って

今年度は、従来の方向性を一新して、学科を主体に授業改善を行う事となった。委員の任期も 1 年から 2 年となり、充実した活動が可能となった。「魅力ある授業づくり」がアクティブラーニングの視点に立って実践され、FD 研修会では、前期は授業づくりの構想が説明され、後期はその構想に即した実践が報告された。各学科のテーマは以下の通りである。詳しい内容については、各学科の委員の報告をご覧ください。

(1) コミュニケーション社会学科

「魅力ある授業作り：講義型授業と問題解決型授業の連携」

(2) 児童発達学科

「領域を超えて深める、魅力ある授業づくり」

(3) 人間福祉学科

「魅力ある授業作りに向けた現状と課題」

(4) 心理学科

「魅力ある授業づくり、現状と課題」

前期の FD 研修会のアンケート結果は、「①今年度の FD 活動について」賛成が 91%、「②学科内のグループ活動は有意義でしたか？」は『はい』が 97%で、変更した FD 活動については賛同が得られたと考えた。その他、「③他学科の取り組みは参考になりましたか？」は『はい』が 74%、「③研修内容について」は「適当」が 74%だった。

後期の FD 研修会のアンケート結果では、「②学科でのグループ討議は有意義でしたか？」は『はい』が 100%で、全員が有効性を認めていた。「③他学科の取り組みは参考になりましたか？」は『はい』が 92.5%、「③研修内容について」は「適当」が 74%で、良好な結果と考える。後期の FD 研修会を併設高等学校や他学部にも参加可能にしたところ、理事長、学長からご参加のお申し出を頂いた。また、併設高等学校の清水直樹校長、保健医療技術学部 FD 委員会の中俣修委員長からは当日はご都合が悪いとのことで、資料請求のお申し出を頂いた。このように、併設校や他学部の先生方が関心を寄せてくださり、大変感謝している。

(金子委員長)

IV 委員会議事録（第 1 回～第 8 回）

1. 委員会議事録（第 1 回～第 8 回）

【第 1 回 FD 委員会】

日時 : 平成 28 年 4 月 6 日（水）17 時 00 分～18 時 30 分

場所 : 西館 3 階 講師控室

出席者 : 木村浩則、金子智栄子、加曾利岳美、青木通、安藤美樹、渡辺行野、長野祐一郎

欠席者 : 古市太郎

(1)今年度の FD 委員会と学部 FD 研修会について

本年度の FD 委員会、学部 FD 研修会の日程確認が行われた。

- 1)FD 委員会 前期 : 5/11 , 6/1 , 7/6
後期 : 10/5 , 11/2, 12/7, 1/11, 2/1 (1 月 2 月は開催日未定)
- 2)学部 FD 研修会 前期 : 7/27 修論の中間報告後の時刻に設定
後期 : 1/25

(2)授業研究について

FD 委員会の活動において、授業研究以外の内容を取り入れる事の是非について議論が行われた。1.半期は従来どおりの授業研究を、残りの半期は学科独自の新しい授業改善を行う案、2.全期間を通して学科独自の新しい授業改善を行う案の 2 案が出され、学部長を含めた議論の結果、昨今の学生募集状況の厳しさも踏まえ、本年度は案 2 を採用することとなった。また、新たな取組を行うにあたり、FD 委員の任期を 2 年にしてはどうかとの提案が行われた。

上記の流れを受け、今年度は学科を主体にした FD とし、「学生募集につながる魅力ある授業づくり」をテーマに、各学科において授業改善を行う事となった。さらに、「本学の特に魅力のある授業について、特集冊子を作り高校に配ってはどうか」との意見が出された。

(3)学部 FD 研修会について

昨年度の FD 研修会を受け、学部 FD 研修会は学科ごとの分科会形式とすることになった。前期は上記 2 にもとづき、どのような授業改善を行うかについて、学科ごとに話し合い発表を行い、後期はそれらの取り組みを行った結果や効果等について報告を行う事となった。

(4)FD 委員会報告書について

3 月の印刷に間に合うよう 2 月中に完成させる必要があることなど、日程の確認が行われた。

「次回の FD 委員会 : 5 月 11 日（水）17 時～ 西館講師控室にて開催予定」

【第2回 FD 委員会】

日時 : 平成 28 年 5 月 11 日 (水) 17 時 00 分～18 時 00 分

場所 : 西館 3 階 講師控室

出席者 : 木村浩則、金子智栄子、古市太郎、渡辺行野、安藤美樹、加曾利岳美、
長野祐一郎、青木 通

欠席者 : なし

(1)FD 報告書について

木村学部長より、文京学院大学が魅力ある授業づくりに取り組んでいることが理解されやすいように、高校向けの FD 報告書を作成したいとの提案があった。タイトルは「魅力ある授業づくり～文京学院大学の教育力」(仮称)とし、今年度学科ごとに行われる FD はこの点をふまえた内容にすることが確認された。

(2)各学科の FD テーマについて

各学科から FD テーマの設定状況について報告がなされ、次回 FD 委員会ではテーマのしぼり込みと 7 月研修会の詳細について検討することになった。

1)児童発達学科

カリキュラムマップの領域別に共通性を探り、効果的な授業方法を検討する。

2)心理学科

複数の教員に心理学のおもしろさを伝えるために工夫していることについて情報収集している段階。

3)人間福祉学科

「実習指導」「オープンキャンパスでの講義 LIVE」「スペシフィック・ソーシャルワーカー養成特別専門講座」のいずれかを取りあげて検討する方向。

4)コミュニケーション社会学科

街ラボ、限界集落などをテーマとした内容や学部横断型授業を取り上げる方向。

「次回の FD 委員会 : 6 月 1 日 (水) 17 時～ 西館講師控室にて開催予定」

【第3回 FD 委員会】

日時 : 平成 28 年 6 月 1 日 (水) 17 時 00 分～18 時 00 分

場所 : 西館 3 階 講師控室

出席者 : 木村浩則、金子智栄子、古市太郎、安藤美樹、加曾利岳美、長野祐一郎
青木 通、渡辺行野

欠席者 : なし

(1)各学科の FD 活動の内容について

1)コミュニケーション社会学科

FD 議事録を配布し、議論を行い、それぞれの案をもらっている段階である。決して「町おこし」だけにならないようにしたい。あくまでも地域に還元することが目的である。

フィールドプロジェクトの方向性であるが、アクティブラーニング、問題解決型の授業がメインになる。学生目線でパンフレットを作成し、ゼミのインタビューなどを入れながら、5 月・6 月の OC に向けて魅力ある授業としてアピールする予定である。

2)人間福祉学科

学科の手続きは、これからである。「魅力ある授業づくりに向けた現状と課題」のようなテーマになるであろう。それぞれがどのような工夫をしているのか事例を挙げ、講義・演習・実習・実技を検討し、統一の課題を整理して取り組みを始める方向である。

3)児童発達学科

今年度作成されたカリキュラムマップを通して、各領域別に共通性を探りながら、学科として効果的な授業方法を検討していく。その授業として「図工・音楽・環境」の領域を軸にひとつの授業を生み出すことから始める。領域の理解や授業構成について学科と授業指導者と検討を重ね、7 月の後半をめどに、ゼミ学生を使ってプレで授業を行う方向性である。

まだ、学科でも詳しい話し合いができておらず、これからテーマを含め承認を得る。

4)心理学科

「魅力ある授業づくり、現状と把握」をテーマに、事例を募集中である。学生主体でオープンキャンパス (OC) の中で紹介していく。あとは、FD 担当が個別に相談しながら協力してくれる先生をお願いをしていく。別紙参照 (長野委員のプラン) ものづくり、視点を変えた心理学の面白さを、学生の意見を生かし OC に出していく。何回も OC に来てもらえるために、年間の内容をパンフレットに提示しておくことも考えている。

※各学科のテーマ設定は各学科会議を経て、7 月の FD 委員会で報告する。

※木村学部長より

文京学院大学の魅力ある取り組みが理解されやすいように、「メッセ」などで使用されている部屋・ブースのようなものを利用し境界をつくり、何をしているのかが分かるように内容を明記するなどの工夫も必要である。

(2)前期 FD 研修会について

1)研修会アンケート

FD 研修会で使用するアンケートについて検討した。

以下、アンケート内容の変更点

- 今年度の FD 活動の取り組みについて<前年度のものを変更した点について>
- 各学科の取り組み（グループ討議）の感想
有意義な時間になったかどうか。
- 他学科の取り組みについて
参考になったかどうか。
- 討議の時間配分はどうか。

これらを修正し、最終版アンケートを 7 月に確認する。

2)進行プログラム

会場：大会議室 <7月27日、修士論文の発表後>

議事録：助手・副手にお願ひする<竹島助手、伊藤副手、坂元助手、田中助手>

司会：金子委員長、はじめに：木村学部長(5分)、学科討議：FD委員が進行(50分)

討議報告：コミュニケーション社会学科<古市委員>、児童発達学科<渡辺委員>、人間福祉学科<青木委員>、心理学科<長野委員>(20分)

まとめ：金子委員長(5分)、アンケート(5分) 全体 85分

3)その他

今年度は、報告書を作成するが、来年度はこの取り組みを書籍にまとめたい。

「次回の FD 委員会：7月6日（水）17時～ 西館講師控室にて開催予定」

【第4回FD委員会】

日時 : 平成28年7月6日(水) 17時00分～18時00分

場所 : 西館3階 講師控室

出席者 : 木村浩則、金子智栄子、古市太郎、安藤美樹、加曾利岳美、長野祐一郎
青木 通、渡辺行野

欠席者 : なし

(1)前期FD研修会について

- ・教授会資料に向けた研修会プログラムのチェック
- ・FD研修についてのアンケート項目の調整
- ・FD研修会の当日準備の打ち合わせ

①全体でのビデオ映像・パソコン準備なし。必要であれば各自持参。

②学科別討議の記録係担当

コミュニケーション社会学科と人間福祉学科 : 坂元助手と田中助手で分担、
児童発達学科 : 渡辺委員、心理学科 : 伊藤副手

③予定時刻

15:00～16:30

(2)各学科の進捗状況

コミュニケーション社会 : 問題解決型の授業づくりをテーマに絞り込みをはかる

人間福祉 : 引き続き情報収集をはかる(2～3名からえている)

児童発達 : 7/25(月)に、「領域を超えて深める、魅力ある授業づくり」の授業を行う予定

心理 : 前回のオープンキャンパスで、「社会に影響を与える生理心理学」をテーマに行った。

首尾よく進む。また、この授業は Project-based learning という視点でもまとめられるのでは? という意見もあった。

「次回のFD委員会 : 10月5日(水) 17時～ 西館講師控室にて開催予定」

【第5回 FD 委員会】

日時 : 平成 28 年 10 月 5 日 (水) 17 時 00 分～18 時 15 分

場所 : 西館 3 階 講師控室

出席者 : 木村浩則、金子智栄子、古市太郎、加曾利岳美、長野祐一郎、渡辺行野
青木 通、安藤美樹

欠席者 : なし

(1)前期学部 FD 研修会の反省

アンケート結果を元に前期学部 FD 研修会の振り返りを行い、下記のような意見が出された。①「学科別に討議する時間を多く設けたことによって、学科内で日頃なかなか話すことができない魅力ある授業づくりについて深めることができたのではないか。」②「今後の研修内容として、障害をもつ学生に対する支援への取り組みを希望する声が複数挙げられていたため、来年度の前期は特別支援に関する専門家に講演していただき、後期はそれぞれの学科での特別支援が必要な学生に対する取り組みについて報告する方向性で進めていきたい」③「他大学との差別化を図るためにも必要な研修内容ではないか」④「合理的配慮に関する勉強会の実施も検討する必要があるだろう。」

(2)各学科の後期 FD 活動の内容について

コミュニケーション社会 : まちラボの実践を紹介し、地域での学びの効果について報告することを検討中

児童発達 : 前期に引き続き 3 科目の連携について取り組んでいく

人間福祉 : (案 1) 前期の FD で行ったアクティブラーニングの効果測定を行う

(案 2) 実践系の科目について BICS の活用も検討しながら実践研究する

心理 : (案 1) 来年度から変更されるカリキュラムを実際にどのように運用していくか検討する。

(案 2) オープンキャンパスの取り組みを実践報告する。

(3)後期学部 FD 研修会について

平成 29 年 1 月 25 日 (水) 予定

(4)その他

- ・今年度も報告書を作成する予定。(報告書の目次案は金子先生が作成)
- ・来年度は FD 委員会の取り組みを 9 月末までにまとめ、書籍化するためにエントリーする予定。
- ・前期人間学部 FD 研修会議事録の修正箇所について確認した。

「次回の FD 委員会 : 11 月 2 日 (水) 17 時～ 西館講師控室にて開催予定」

【第6回 FD 委員会】

日時 : 平成 28 年 11 月 2 日 (水) 17 時 00 分～18 時 10 分

場所 : 西館 3 階 講師控室

出席者 : 木村浩則、金子智栄子、古市太郎、長野祐一郎、渡辺行野、青木 通、安藤美樹、
加曾利岳美

欠席者 : なし

(1)各学科の後期 FD 活動の内容について

コミュニケーション社会 : 前期に引き続き、まちラボの実践を紹介し地域での学びの効果
について報告することを検討中。

児童発達 : 前期に引き続き、3 科目の連携について取り組んでいく。11 月末に授業研究を
予定。

人間福祉 : 障害者スポーツに関する内容を検討中。

心理 : 前期に引き続き、オープンキャンパスでの取り組みを実践報告する。

(2)後期学部 FD 研修会について (資料 1, 2, 3)

- ・平成 29 年 1 月 25 日 (水) 予定 (時間は未定)。
- ・資料 1 (平成 28 年度後期人間学部 FD 研修会進行) : 12 月 FD 委員会までに、「2. 学科別
討議」の内容および、担当者がこれでよいかどうかを学科で検討しておく。
- ・資料 2 (平成 28 年度後期人間学部 FD 研修会についてのアンケート) : 「①今年度の FD 活
動についていかがお考えですか」の質問を削除する。
- ・資料 3 (平成 28 年度後期人間学部 FD 研修会準備等の打ち合わせ) : 12 月の FD 委員会ま
でに、この内容でよいかどうかを見ておく。「7) グループ討議と報告の記録」は、心理学科
の竹島助手にお願いすることとする。12 月の FD 委員会で内容が決まった後、金子委員長か
ら小林学科長へお願いする。

(3)平成 28 年度人間学部 FD 委員会報告書作成について (資料 4)

- ・「Ⅲ.活動内容 1-1(2)FD 研修会」の「①議事録」を削除し、「V.」を「委員会議事録とアン
ケート結果」とする。
- ・「Ⅲ.活動内容」は、前期・後期に分けず、各学科で通年の内容を載せることとする。
- ・FD 委員会報告書を電子化したらどうかという意見が出ている。そのため、とりあえず、
FD 報告書はメール配信することとする。内容は、青木委員が取りまとめて下さるため、2 月
中に青木委員へ提出する。

(4)その他

- ・木村学部長から、FD 活動の内容について、別途、単行本を作りたいという意見が出た。そ
の方向で進めることが確認された。次回 FD 委員会までに、木村学部長が目次を作って来る
予定。

次回の FD 委員会 : 12 月 7 日 (水) 17 時～ 西館講師控室にて開催予定

【第 7 回 FD 委員会】

日時 : 平成 28 年 12 月 7 日 (水) 17 時 00 分～18 時 00 分

場所 : W311 教室

出席者 : 木村浩則、金子智栄子、古市太郎、加曾利岳美、長野祐一郎、渡辺行野、
茂井万里絵 (12 月より就任)、青木 通

欠席者 : 安藤美樹 (休業中)

(1)各学科の後期 FD 活動の内容について

コミュニケーション社会 : 「魅力ある授業づくり : 講義型授業と問題解決型授業の連携」
学科内で十分な検討はできていないが、上記テーマに基づいて討議を行う予定。

児童発達 : 「領域を超えて深める、魅力ある授業づくり」

12 月に授業研究を実施する予定。

人間福祉 : 「魅力ある授業づくりに向けた現状と課題」

12 月に授業実践を実施する予定。

心 理 : 「魅力ある授業づくり、現状と課題」

オープンキャンパスでの取り組みについて実践報告する。

(2)後期学部 FD 研修会について

- ・プログラム、アンケートの内容については原案通りに了承された。
- ・準備等の打ち合わせ事項については、ビデオ映像やパワーポイントは 4 学科とも使用しないこと、研修会議事録の作成とアンケートの集計は助手の先生方が担当することが確認された。

(3)平成 28 年度人間学部 FD 委員会報告書作成について

- ・構成は原案通りに了承され、「Ⅲ.活動内容 : 1～4」「Ⅳ. 今年度の FD 活動を振り返って : 2」については FD 委員が執筆を担当する。
- ・報告書はメールにて大学全体に配信することが確認された。

(4)その他

- ・木村委員長より、書籍出版に関する目次案が提案された。経営学部の新田教授や馬渡教授にも執筆を依頼する予定のため、当初予定していた書籍サブタイトルの「BGU 人間学部の魅力ある授業づくり」を「BGU の魅力ある授業づくり」に変更することになった。また、構成等についても継続的に検討を加えていくことになった。文字数や枚数についても案が示されたが、画像等を積極的に掲載することが確認された。原稿締切については、平成 29 年 8 月末をメドとし、今年度 FD 委員が執筆担当になることが了承された。

次回の FD 委員会 : 平成 29 年 2 月 1 日 (水) 17 時～ 西館講師控室にて開催予定

【第 8 回 FD 委員会】

日時 : 平成 29 年 2 月 1 日 (水) 17 時 00 分～18 時 30 分

場所 : 西館 3 階 講師控室

委員 : 木村浩則、古市太郎、茂井万里絵、加曾利岳美、長野祐一郎、青木 通、
渡辺行野、金子智栄子

欠席者 : 安藤美樹 (休業中)

(1)後期学部 FD 研修会 (平成 29 年 1 月 25 日) の反省

研修会での報告を確認した。詳細は別途資料にある。確認として、アクティブラーニングの下準備、アクティブラーニングに関する概念の教員間の共有、教室などのハード面の整備と充実、各授業間の横断的つながりなどの問題点や課題が共有された。

(2)経営学部 FD 研修会への参加について

金子委員長が出席予定。

(3)報告書作成について

原稿締め切りとして、2 月末までに青木委員へ提出することが確認された。

(4)全学 FD・SD 研修会 (平成 29 年 2 月 9 日) について

当日の段取りとして、各委員がテーマについて各学科の意見の取りまとめを行う。また、保育実習と重なった場合は、木村学部長に連絡。

(5)次年度の FD 活動の方向性について

全学 FD・SD 研修会 (平成 29 年 2 月 9 日) を受けて、検討する。現段階では、合理的配慮や LGTB などの性的多様性についてなどの意見があがった。

(6)書籍の分担部分の構成について

各担当者から進捗状況が報告された。また、金子委員長から、「システム作り・定着化・授業改革」という三つのテーマによる構成案が出された。

次回の FD 委員会 : 4 月予定

2. 研修会 (省略)

V 委員氏名

コミュニケーション社会学科 : 古市太郎

児童発達学科 : 木村浩則 (学部長)、金子智栄子 (委員長)、渡辺行野

人間福祉学科 : 青木 通、安藤美樹 (11月まで)、
茂井万里絵 (12月～2017年3月)

心理学科 : 加曾利岳美、長野祐一郎